

2018年(平成30年)星和会 文化講演のお知らせ

- 講師** 齋藤次男氏(全3回生)
- 講話の題目** 昭和映画史の一断面
- 講話の日時** 2018年(平成30年)11月25日(日) 11時30分～14時30分(開場 11:00)
星和会総会・午餐会(懇親会)のメインイベントとして講話は、その冒頭約1時間15分をあてています。
- 場所** (公益財団法人) 偕行社 3階 会議室
〒102-0024 東京都千代田区九段南 4-3-7 翠ビル 3階
JR市ヶ谷駅下車 徒歩 8分
地下鉄 都営新宿線・有楽町線・南北線 市ヶ谷駅出口 A3 徒歩 5分
- 会費** 文化講演 聴講 無料 午餐会(懇親会)出席の場合 4,000円
(維持会費 2,000円、午餐会会費 2,000円)

齋藤次男氏の文化講演 聴講のお勧め

星和会代表 田仲一成(併1回)Tel:03-3834-3470 佐野清廣(全3回)Tel:049-271-3046



齋藤次男(さいとう つくお)

略歴: 1932(昭和7)年村上市塩谷村生まれ。57(同32)年東北大学卒業、松竹入社。映画プロデューサーとして『切腹』『おはなはん』『男はつらいよ』などを手がける。73(同48)年松竹退社。75(同50)年(株)社会計画研究所設立。現在、齋藤映像工学主宰。東日本国際大学地域振興戦略研究所研究員。主要著書:『映像からのまちづくり』『河童アジア考』『妖怪都市計画論』『砂かけ武蔵』『昭和映画屋渡世』など。

講師: **社長と喧嘩** 今年 85 才になります。振り返って私の人生を一言でいうと「映像屋」という名が一番ふさわしいように思われます。学校を出て直ぐに松竹の撮影所で、プロデューサーという仕事に就きました。これが何とも訳の分らない仕事で、自分でも何をやっているのか分らないまま15年経ちました。(中略)その後、無鉄砲にも、映画界の大御所、城戸四郎社長とぶつかって、松竹を辞めることになりました。**スタッフ全員のもの** 私は、映画は総合芸術だと確信しています。だから「一将功成つて万骨枯る」という映画の作り方には、強い反感をもっています。今考えると、それが、行われていなかったということが、松竹を辞めた最大の理由だったと思います。ともかく39才で映画界を去りました。(続く)

(会場アクセス)



